

媒体名

日本流通産業新聞

掲載日

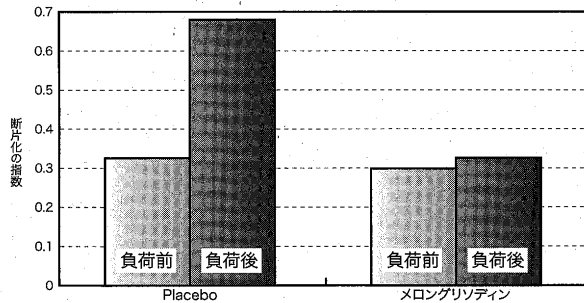
2010年1月1日

タイトル

アンチエイジング特集

女性にとって美は永遠のテーマ。そして、美をめぐる女性にとって「アンチエイジング（若返り）」という言葉は、麻薬的な響きを持っている。だからこそ、モノが売れない時代になっても「アンチエイジング」用途の商品は売れ続けている。アンチエイジングという言葉は幅広い裾野を持っており、肌のしわ・しみ・くすみ、はりの改善などはもちろんだが、骨密度の改善や育毛なども広義には含まれることになる。アンチエイジング効果のエビデンスを持った健康食品・化粧品素材はもはや珍しい存在ではなくなった。ストリー性や、ユニークなメカニズムといったラズアルファの部分でアンチエイジング商品の雌雄を決するポイントになってきているからだ。アンチエイジング商品の最前線を紹介する。

メロングリソディンの酸化ストレスショックからのDNA防御



断片化の指数が大きいほどDNAの損傷が進んでいることを示す

ニュートリションアクト

メロン抽出物「メロングリソディン」

体内の抗酸化酵素を活性化

健康食品素材

健康食品・化粧品OEM製造や、素材の輸入販売などを行うニュートリション・アクト（本社 東京、石川雅仁CEO、03-5475-7310）はアンチエイジング素材として、体内の抗酸化酵素を活性化させることで抗酸化能を全体的に誘導して高めるという画期的なメカニズムを持つ「メロン抽出物」メロングリソディン」を提案している。

同社は「抗酸化酵素を誘導活性化することにより、からだ全体の約60兆個の細胞を守ることで、異なるため、人によって異なるさまざまな老化による障害に対応できる。究極のアンチエイジング素材といえるのではないかと話している。

メロングリソディンは腸管免疫系を介して、体内のすべての抗酸化酵素（「SOD」「グルタチオンペルオキシターゼ（GPX）」「カタラーゼ」）を活性化することで、体の抗酸化能を全体的に高める。

17人の健康な男性タイパー（28〜44歳）を対象に、高濃度酸素に計1時間暴露させ、活性酸素が過剰発生しやすい状況を人工的に作り、細胞中のDNAの保護効果を二重盲検試験で検証した。プラセボ群では高濃度酸素負荷後にDNAの断片化損傷が起ったが、メロングリソディン摂取群では断片化の指数にほとんど変化がなかった（グラフ参照）。このことから、メロングリソディンがフリーラジカルの有害な作用からDNAを保護する働きを持つことが確認された。

抗酸化酵素の活性化は、さまざまなアンチエイジング効果につながる。同素材については、関節炎症状の改善、動脈硬化の予防・改善、老化による認知能力衰退の改善などを各種試験で確認している。

関節炎症状の改善については、炎症性サイトカイン（TNF-α）と活性酸素をもに減少させるというデータを取得している。グルコサミンとの併用で相乗効果が期待できるといっている。

心臓疾患リスクを持つ40〜50歳の男女34人を対象に、2年間の臨床試験により動脈硬化の予防・改善効果を調べたところ、メロングリソディン摂取群は、非摂取群に比べ、SOD値、GPX値が向上、一方でMDA（酸化ストレス）値が抑制された。さらにIMT（動脈硬化度）が段階的に減少していることから、動脈硬化改善効果が示唆されている。